

CSR報告書2015

社会から信頼・共感される企業をめざして



菰野町 三滝川

デンソートリム株式会社

もくじ

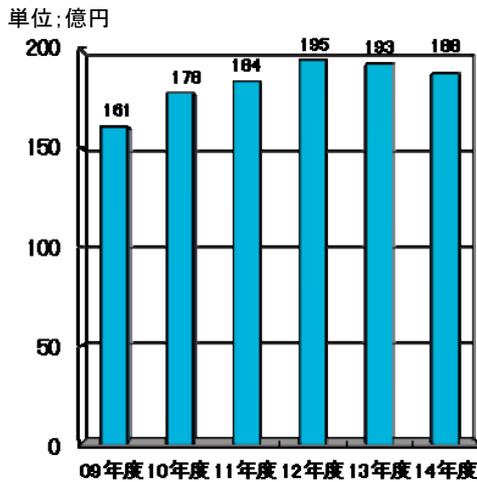
1. 会社概要／製品概要	2
1-1. 会社概要	
1-2. 製品概要	
1-3. 創立25周年	
2. 社長メッセージ	4
3. デンソートリムのCSR	5
3-1. 基本的な考え方	
3-2. デンソーグループ企業行動宣言	
3-3. デンソーグループ社員行動指針	
3-4. デンソーグループスピリット	
4. 社会性報告	7
4-1. お客さまとともに	
4-2. 社員とともに	
4-3. 地域・社会とともに	
5. 環境報告	18
5-1. 環境方針	
5-2. 環境監査体制	
5-3. 環境推進体制	
5-4. 環境行動計画	
5-5. 法規順守状況	
5-6. 生産環境負荷削減	
5-7. 14年度環境活動状況まとめ	
6. 製品を通じての社会貢献	23
編集後記	24

※2014年度に新たに実施した項目や新規製品には、
NEW が付いています。

1. 会社概要／製品概要

1-1. 会社概要

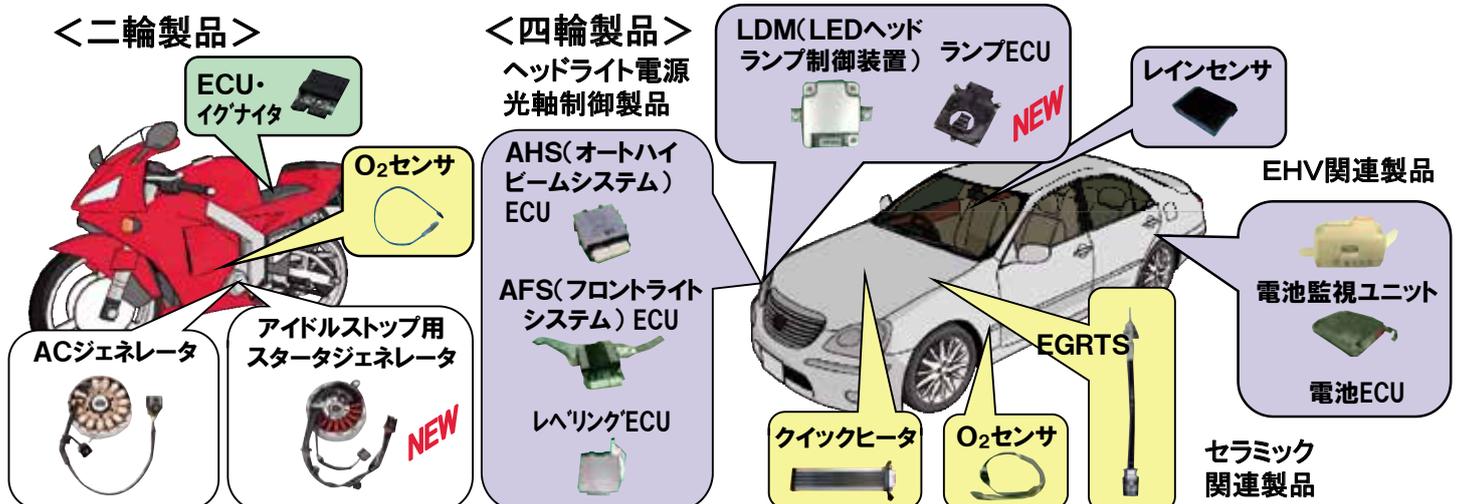
社名	デンソートリム株式会社
所在地	三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460
設立	1990年3月30日
代表	取締役社長 平松晃一
資本金	3億1千万円
従業員数	569名(2015年3月末現在)
売上高	単位:億円



1-2. 製品概要

デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用ACジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジンECU・AFSECU・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「O₂センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。



1-3. 創立25周年

2015年3月30日におかげさまで創立25周年を迎えました。

1990年、二輪車用点火製品であるマグネト（ACジェネレータ）事業の再生を使命として設立された当社は、その後㈱デンソーの支援を受けながら、電子製品やセラミック製品も担当、生產品目を順次拡大してまいりました。現在では、海外生産が中心となった二輪事業の「マザー工場」としての役割を担いつつ、年間売上高が188億円、569名が働く会社へと成長しました。

3月30日の創立記念日には、会社と従業員の代表が揃って、記念植樹を行いました。記念樹は、若い人が多いトリムにふさわしく「友情」の花言葉を持つ、常緑ヤマボウシを選定しました。

また、7月12日には四日市都ホテルにて創立25周年記念祝賀会を開催いたしました。



2. 社長メッセージ

近年、デンソーグループの事業活動が急速にグローバル化する中、社会から期待される社会的責任の範囲も広がってきています。そのため、(株)デンソーは2006年に「CSR（企業の社会的責任）方針」として「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、グループ全体でCSRのレベルアップに取り組み、社会から信頼され、共感される企業をめざしていくこととしました。



デンソートリム(株)もデンソーグループの一員として、この方針に則り、ステークホルダー（お客さま、仕入先さま、社員や社会など）を大切にして、業績に加え、法令や倫理をきちんと守るだけでなく、地球環境への配慮、社会貢献などにもバランスよく取り組むことを意識し企業活動を続けています。

CSRの基盤活動の一つに「情報開示」があります。また、活動のレベルアップを図るには、主役である社員一人ひとりにより深い理解を促し、意識と行動を成長させていただくとともに、社外のステークホルダーの皆さまの声を経営に活かしていくことが必要と考えます。その方策の一つとして、2012年から「CSR報告書」の発行を開始しました。

2014年度は、施設部門の活動が国内のデンソーグループ内1位（海外を含めても2位）を受賞、創意工夫功労者表彰も3年連続受賞するなど地道な活動が認められた年と捉えております。また、燃費向上によりCO2削減に貢献できる「アイドルストップ用ACジェネレータ」や視認性向上により交通事故抑止に貢献できる「ランプECU」などの新製品生産も始めました。

創立25周年を一つの節目として活動を活性化し、今まで以上に社会貢献の意識を高め、社会的責任を果たしていくことが、持続的な企業力向上に繋がると考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

2015年9月
デンソートリム株式会社
取締役社長

平松 晃一



3. デンソートリムのCSR

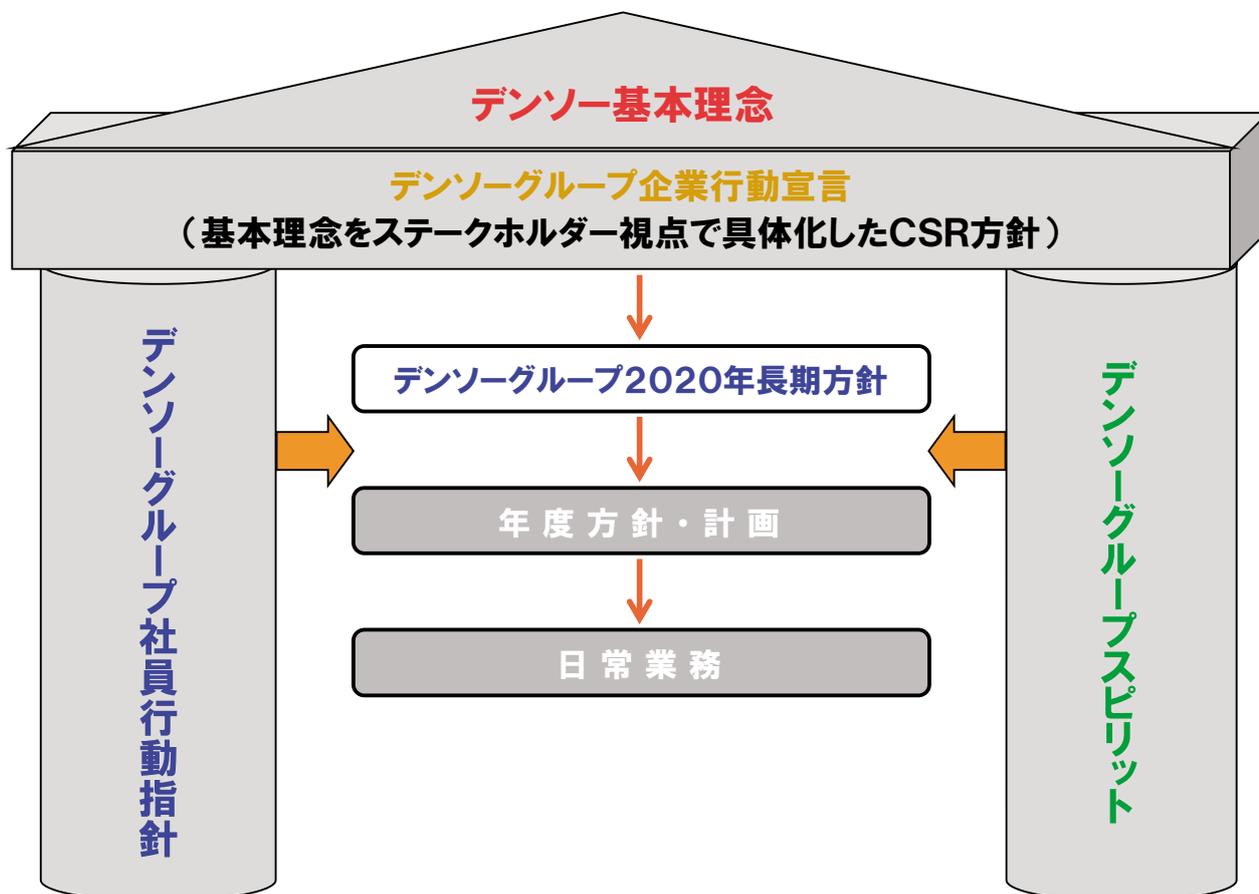
3-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。これを実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。これを世界中で事業活動を行うグループ会社が実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、ステークホルダーへの責任を明らかにしました。

以来、CSR（企業の社会的責任:Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2013年に策定した長期経営方針「デンソーグループ2020年長期方針」では、事業の拡大に伴い、デンソーグループに対する社会からの期待がますます高まっていることから、CSR経営のさらなる加速を掲げました。

私たちデンソートリムは、デンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立ててCSR活動を推進しています。



3-2. デンソーグループ企業行動宣言

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- (1) 経営トップのリーダーシップのもと、誠実な事業活動をグローバルに遂行します。法令とその精神を遵守するとともに倫理的行動を実践します。
- (2) 各国の文化・歴史を尊重して人を大切にする経営に努め、オープンでフェアな情報開示と対話を実践します。
- (3) 変化を先取りして、新しい価値の創造にチャレンジします。そして、現地現物を重視しカイゼンに努めて最高の品質を実現します。
- (4) コミュニケーション、チームワークを大切にして、人材の育成に努めます。

3-3. デンソーグループ社員行動指針

「デンソーグループ企業行動宣言」を実践するため、社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。

社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

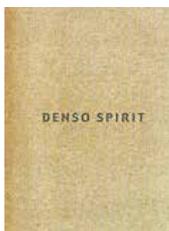


目次

- I. デンソーグループの一員として
- II. 生き生きとした職場をめざして
- III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV. 仕入先との共存共栄をめざして
- V. 株主の信頼と期待に応えるために
- VI. 社会と共生するために

3-4. デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。



企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」
デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として
連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の
考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組み
を推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳
し、グローバルな共有に注力しています。

4. 社会性報告

4-1. お客さまとともに 一品質一

品質を支えるのは、人の力。品質第一主義を基本に高品質なモノづくりに努めています。

そのために、独自の教育システムを構築して社員教育を推進するとともに、デンソーグループの教育カリキュラムにも参加しています。従業員一人ひとりが必要なスキルを身に付け、お客さまの満足向上につなげています。

(1) 品質保証の基本方針

1. お客様に対する品質第一主義に徹する
2. 仕事の各段階で最初から正しく品質保証する
3. 全員参加による品質管理を推進する

(2) 社員教育

①わかば道場（社内教育訓練道場）

新入社員の導入教育において、座学（O F F - J T）と訓練（O J T）を融合し、モノづくりに対する考え方を習得します。

また、新入社員だけでなく、中堅・職制の教育、更に国家検定練習の場とし、人材育成に活用しています。



②階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

2013年度にグローバル対応力強化のため、教育体系に「グローバル人材教育」の柱を追加する見直しを行ないました。

創造性とチャレンジ精神が旺盛で
活発に行動できる人づくり

階層別教育

各役職・階層および管理・推進業務指名者に必要な役割意識・意欲の向上、管理手法の習得を図る教育

職能別教育

各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育



③QCサークル

1991年から開始しているQCサークル活動はサークルメンバーの能力向上・自己表現
明るく活力に満ちた生きがいのある職場づくり
お客さま満足の向上および社会への貢献
をめざしています。



2014年度末で58サークルが目標を設定し、
部内選考やQC全社大会を通じて、相互啓発に努めています。

社内だけでなく、QCサークル東海支部三重地区大会等でも発表・表彰を受けており、「石川馨賞」を受賞したサークルもあります。

※「石川馨賞」とは・・・

日本の品質管理、TQC（全社的品質管理）の偉大な先駆者でQCサークル活動の生みの親・育ての親といわれた故 石川馨氏の偉大な業績をたたえるため、1990年に「FQC賞」（1965年制定）を改称したものの。

4-2. 社員とともに

(1) コミュニケーション

①全社朝礼

毎月第一稼働日に全社員が集まって全社朝礼を開催しています。

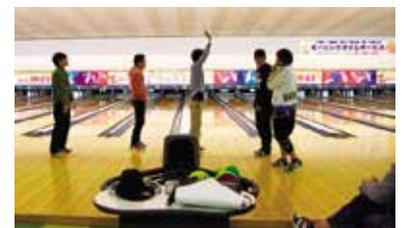
社長と部長以上の職制1人から社員に向けた講話を行なうことに加え、優れた成果を収めた社員の各種表彰も行なっています。



また、当日夜勤の方や聴覚障がい者の方々にも朝礼内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストを作成し、各職場での展開を実施しています。

②社員親睦

より良い職場環境を築くには、社員相互の豊かなコミュニケーションが不可欠と考え、社員同士の親睦を図る場として、新入社員歓迎会の開催や、デンソー大安製作所での大運動会に参加しています。



新入社員歓迎会（ボウリング大会）



綱引き



大縄跳び



ムカデ競走

③新成人を祝う会

新成人として晴れて大人の仲間入りをされた皆さんを祝う会を社内で開催しています。社長・役員・上司からのお祝いの言葉に続いて、新成人の方が生まれた頃の出来事や、新成人の意識調査を紹介しながら新成人の皆さんに抱負やチャレンジしたいことを語っていただきました。

はつらつとした新成人の皆さんのお話と笑顔に、会場は和やかな祝福ムードに包まれました。



④グリーンカーテン・フォトコンテスト

デンソーグループでは、6月の「環境月間」にあわせ、環境にちなんだ各種行事を展開しています。

その一環として、「デンソーグループグリーンカーテンコンテスト」を開催しています。ゴーヤ部門とフリー植物部門の2部門で一株あたり面積及び収穫量、出来栄えと取り組み内容を基準にグループ会社で競います。

また当社内でも、社員自身（家族含む）が栽培しているグリーンカーテン」（1年草のアサガオ、ゴーヤ等何でもOK）を対象に、フォトコンテストを開催しています。審査の基準は、栽培面積や収穫量、カーテン形状のユニークさ・エレガントさ等、参加者からのアピールをもとに、総合的に判断しています。



2014年度グランプリ

⑤ファミリーオープンハウスデー

社員のご家族の皆さんに会社施策への理解を深めていただくとともに、社員とご家族のコミュニケーション充実を目的として、社内を見学していただく「ファミリーオープンハウスデー」を開催しています。

学校の夏休みに合わせて実施し、職場見学に加え、お子様に「モノづくり」が好きになってもらえるよう「モノづくり体験」も実施しています。

5家族11名に参加いただき、お子様からは「会社で作っている製品がよくわかりました」「お父さんが頑張っていることがわかりました」「工場には様々な仕事をしている人がたくさんいて作業が速くてすごいと思った」「ソーラーカーを作るのが楽しかった」「食堂で一緒にご飯が食べれて楽しかった」等の感想があり、好評でした。



モノづくり体験で作成したソーラーカー



(2) 社外表彰

①文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」3年連続受賞

文部科学省では、科学技術に関する研究開発・理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めています。

その表彰の一つに、優れた創意工夫によって職域における技術の改善向上に貢献した者を対象とした「創意工夫功労者賞」があります。



2012年に初めて創意工夫功労者賞に申請（推薦）を行ない、7名が受賞。2013年も、6名が受賞しました。

2014年は7月に申請を行ない、3名（2015年4月発表）が受賞しました。

各受賞者の業績が、作業効率の向上、製品の品質向上、コスト削減、災害防止など技術的な創意工夫で、かつ貢献実績が顕著なものとして認められたものです。

一般的には、申請総数の2～3割程度しか受賞できない狭き門といわれている中、3年連続で、数多くの受賞者を輩出できたことは、当社が長年「普段の活動の中から改善向上策を見出しては、次のモノづくりに反映していく」という地道な活動を続けてきたことによるものです。

今後とも、全社一丸となって製品の品質の向上、改善活動の活性化に努め、毎年、受賞者を輩出できるよう、愚直に日々進化するモノづくりに取り組んでまいります。

②(株)デンソー電子製造部主催スプライシング（部品供給作業）

オリンピック2014「3位」入賞 **NEW**

実装（基板に電子部品を取り付ける）工程の品質・生産性向上を目的に、国内外12拠点から代表者が参加し、作業時間や品質などを競技の結果、当社代表の生産4課竹内亮太さんが、見事に3位入賞しました。



竹内亮太さん（中央）

③(株)デンソー施設部主催「施設 OF THE YEAR 2014」 国内1位受賞 **NEW**

3月27日にデンソー福島で開催された国内施設部門全体会議にて、当社の施設保全の取り組みが、国内のデンソーグループ会社全21社中第1位、グローバルグループ会社全65社中第2位と大変高い評価を得て、表彰されました。

これは、当社の施設保全グループの1年間を通じた活動が高く評価されたものです。

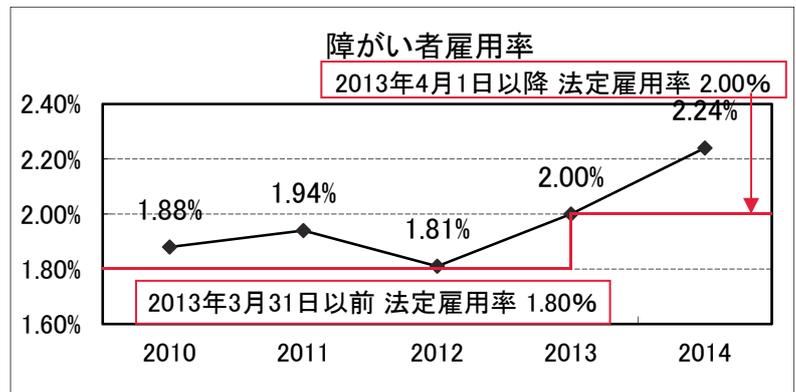


(3) 多様な人々が活躍できる職場づくり

①障がい者雇用

— 在籍している障がい者の方が長く職場定着できる環境づくり —

取組みの一環で、聴覚障がい者の方同士の横の繋がりを持つ場として、聴覚障がい者だけの懇親会を定期的を開催し、そこで会社・職場への要望等も確認・対応しています。



②仕事と育児の両立支援（育児休暇制度、育児短時間勤務制度）

仕事と育児の両立を支援するための仕組みとして、産前産後休暇をはじめ、法定を上回る育児休暇制度や育児短時間勤務制度を導入しています。

年々、利用者数は増加しており〔表1〕、これからも継続して仕事と育児の両立を支援する仕組みを進化させていきます。

育児短時間勤務制度（9:30～16:30）利用者の声



生産管理課 藤波さん

初めは通常勤務で復帰予定でした。しかし、復帰の時期が近づくにつれ、仕事と家庭の両立が不安になり、当制度を利用することにしました。

当制度を利用することで、心身ともにゆとりができ、朝の身支度も子どものペースに合わせる事ができています。

また、帰宅後も子どもと触れ合う時間があり、当制度を利用して本当に良かったと思います。

〔表1〕
育児短時間勤務制度（利用者）

年度	利用者数
2012年度	4人
2013年度	9人
2014年度	11人

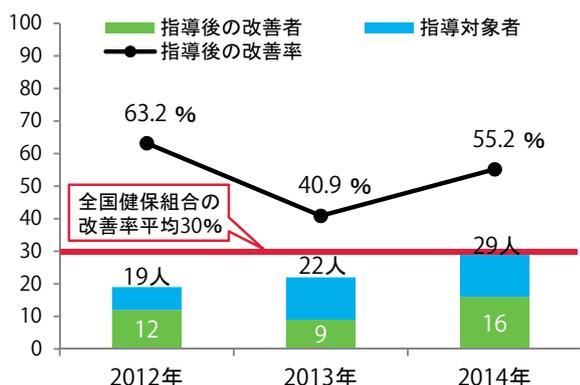
③社内人材公募

会社の将来を見据えた体制づくりに向け動き出すとともに、社員のモチベーション向上も図るべく、2013年度から「社内人材公募制度」をつくり、実行に移しました。この制度は、意欲ある従業員に個人の能力伸展に繋がる活躍の場・機会を提供することを目的とし、幅広く社内より人材を募り、従業員が自由に応募できる制度です。2013年度は書類審査や面談の結果、17名が合格し新しい職場で活躍しています。2014年度も新たに4名が合格し、異動しました。

(4) ころとからだの健康管理

当社では、社員の心身両面の健康づくりを進めています。増加傾向にある生活習慣病（高脂血症・高血圧・糖尿病など）の予防としては、特定保健指導の対象者に対して、食生活の改善と運動習慣の定着に向けた教育指導を半年間継続実施。また、仕事でストレスを感じる勤労者が増加している中、予防・再発防止を図るべく、メンタルヘルスケア体制充実や管理者教育などに取り組んでいます。

特定保健指導（対象40歳以上）



管理者研修

	2013年9月	2014年2月
テーマ	メンタルパートナー養成研修	職制のためのコンプライアンス教育
講師	三重県(実施主体)の講師養成研修受講済社員	(株)デンソー法務部講師
受講者	74名	127名

(5) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しており、操業以来「休業災害以上0」を継続中です。

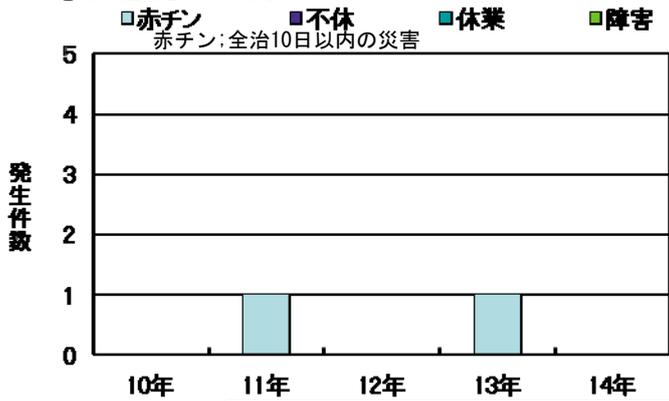
①安全指標(14年度)

管理項目	目標	実績	評価
重大災害	0件	0件	○
休業度数率	0	0	○
出火事故	0件	0件	○
職業性疾病	0件	0件	○

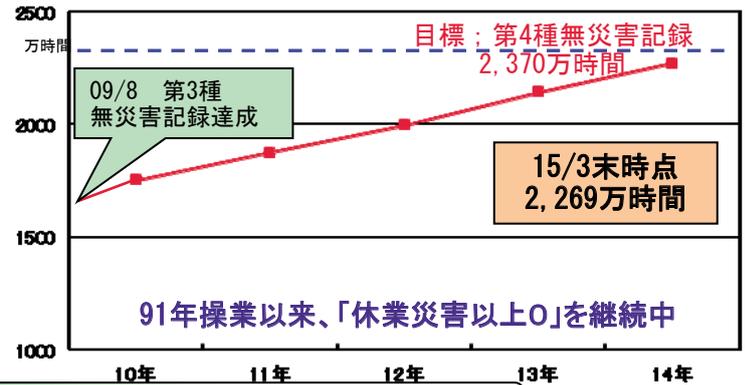
②安全施策

	10年	11年	12年	13年	14年
自発的に安全行動できる意識の浸透	3S 対話3-3 安全の日めくりカレンダー				
	安全・歩行5訓の徹底				
	安全基本行動の教え込み				
リスク先取りによる重大災害防止対策強化	トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回				
	重大リスク低減安全対策				
	フォークリフト	大型開口部	成形機	クレーン	ローラ点検
マネジメントの強化	OSHMS全社活動(リスクアセスメント)				
	異常処置認定教育				

③災害発生状況



④無災害時間(休業以上)



今後も愚直に安全活動に取り組み「災害ゼロ」を目指します

(6) 防災 (震災への備え)

東日本大震災での教訓を踏まえて、デンソーグループでは「震災リスク対応」の見直しを進めています。

特に当社では、いざという時に「地域やお客さまに迷惑をかけない」を合言葉に日々の活動・訓練に取り組んでいます。

2014年度からは、2カ年計画で全社員が災害発生時に自発的に初期消火活動や救護活動に取り組めるよう「消火器・消火栓の操作方法教育と応急手当講習」をセットで実施すべく、計画的に進めております。

まず初年度は、応急手当普及員の養成と各職場防災リーダーの教育に重点的に取り組みました。いずれも、菰野消防殿に全面的にご協力いただき、大きな成果を得ることができました。

2015年度は、これら職場防災リーダーを核として、全社員への教育を進めてまいります。

内容	対象	2014年度(実績)	2015年度(計画)
応急手当普及員養成	社内防災隊班長	8月(5名)	8月(3名)
普通救命講習／ 消火器・消火栓講習	各職場防災リーダー	6月(31名)	
消火器・消火栓の 操作教育&応急手当 講習(AED操作他)	全社員 (1.5H×560名)		通年(560名)



応急手当講習



消火栓の操作方法教育

4-3. 地域・社会とともに

(1) 地域との対話を深める懇談会開催

当社では、年に1度、地元の代表の方々と菰野町役場の方を会社にお招きして「トリムの最近の事業活動や環境活動への取組み状況」をご説明しご理解いただくと共に、地元の皆様からは会社に対しご意見・ご要望をお寄せいただいています。

2014年度は10月に菰野町役場から2名、地元池底区・大強原区から8名、計10名の皆様に参加いただき、環境取組み体制や環境データの測定結果（工場排水の水質・敷地境界の騒音・振動レベル）等を説明し、工場もご視察いただきました。

懇談の場では、わかば道場での訓練の様子や、工場内のきめ細やかな安全対策（歩行時における構内運搬車等との接触及び通路での人同士の衝突による災害防止を目的として「止まれ箇所」を設け、一時停止をして指差確認を行なう）、さらには徹底した5S活動など「そこまでやるのか」と驚きとお褒めの言葉をいただきました。

当社では、今後とも、地域社会の一員として地元行事などに積極的に参加すると共に情報公開を推進し、周辺住民の方々や行政機関との対話を図ってまいります。



(2) ボランティア活動

地域社会の一員として、「私たちがお世話になっている地域の環境保全活動に少しでも協力しよう！」と会社周辺の環境美化活動を定期的に行っています。当社では、この活動を「DENSOグループハートフルデー」の取組みとして今後も大切にしていきます。

その他にも、社内での「献血活動」や「空き缶のプルトップ収集」さらに「ペットボトルのキャップ収集」を行っており、2013年から古切手の収集も始めました。

① ゴミゼロ活動(年4回;1996年～)



14年度	参加人数
6月	191名
9月	127名
11月	143名
3月*	75名
計	536名

※3月は菰野町クリーン大作戦と同日に実施

②献血活動(年2回;1995年～)

献血活動は、1995年から平日の勤務時間内に年2回(春・秋)実施

14年度	参加人数
6月	62名
11月	64名
計	126名

表彰

2005 日本赤十字三重県支部長
感謝状(銀枠)

2007 三重県知事感謝状

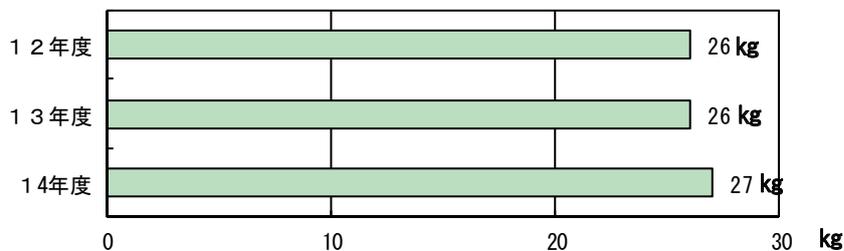
2012 日本赤十字三重県支部長
感謝状(金枠)



③空き缶のプルトップ収集(2009年～)

アジアの障がいのある子供たちに車いすを贈ろう!

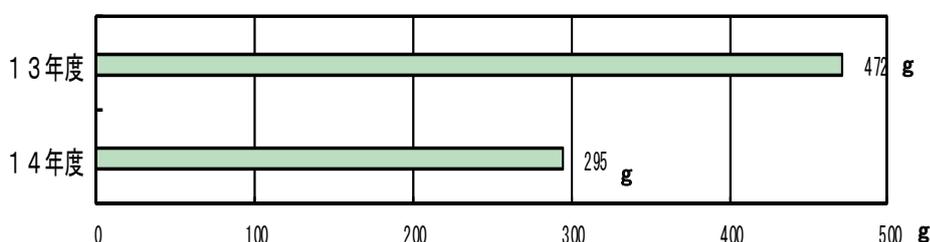
◆自販機に収集箱を設置し、約200kgのプルトップで車いす1台を贈る運動。



④使用済み切手収集(2013年～)

地域の福祉活動推進に役立てよう!

◆工場入口と事務所に収集BOXを設置し、菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈る活動。



(3) 交通安全活動

デンソーグループでは、生命を守るための安心・安全に関わる技術開発やモノづくりを追及するとともに、自動車産業に携わる企業として、社会的弱者が安心して暮らせるよう交通安全の取組みにも力を注いでいます。

当社でも以下の通り、交通ルールを遵守し地域に迷惑をかけないよう指導・徹底をしています。

2014年は、若年層向け社外交通安全講習会を新たに実施しました。



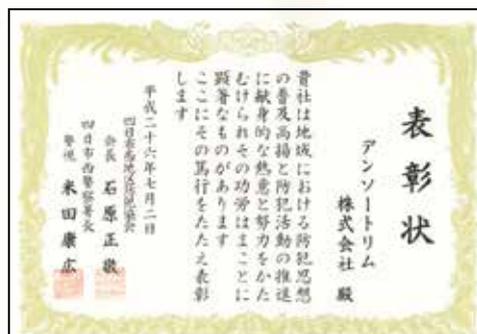
交通安全決起大会（12月）

実施項目		内容
社員への交通安全教育	新入社員の通勤経路同乗指導（4月）	免許取得1年未満の新入社員に対し上司による同乗指導を実施
	若年層向け社外交通安全講習会（7月） ^{NEW}	自動車学校の指導で自分自身の運転を見つめ直し、安全運転の意識を高める
	交通安全決起大会（8月・12月）	四日市西警察署交通課長を講師に招き全員参加で実施
通勤車両管理	西門立哨（月1回）	西門にて通勤車両のシートベルト着用状況確認し、指導を実施
	通勤車両チェック（随時）	違法な車両が無い確認
地域活動	ミルミルウェーブ（年2回）	四日市西交通安全協会主催の街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施

(4) その他の活動

① 四日市西地区防犯協会表彰 ^{NEW}

防犯思想の普及高揚と防犯活動の推進を認めていただき、四日市西地区防犯協会定期総会にて、表彰を受けました。



② 高校生の「職業意識形成」支援活動

近隣の高校生が職業への理解を深め、進路選択・決定の一助となるような支援活動を実施しています。

- 1) 出前授業（2007年～）
授業の一つとして、教室や体育館で「就職・働くとは？」というテーマで講義をします。
- 2) 工場見学受入れ（2006年～）
生産現場を案内し、仕事内容を説明することで、製造職への理解を深めていただきます。
- 3) インターンシップ受入（2001年～）
作業員として3日間程度生産職場で実習を行ない、製造工程の技能や決め事に触れて、働くことの厳しさ・面白さを体感していただきます。
高校生だけでなく、障がい者（生産職場）、大学院生・大学生（技術系職場）のインターンシップ受入も行なっています。

14年度	内容
9月	出前授業（1年生希望者 59名）
10月	工場見学受入（障がい者 1名）
11月	出前授業（1年生全員 192名）
11月	工場見学受入（1年生 20名）
12月	工場見学受入（2年生 12名）
1月	インターンシップ受入（障がい者 1名）
2月	工場見学受入（2年生 20名）



1) 出前授業



2) 工場見学

③ 鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンへの協賛

当社の地元・菰野町で開催される鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンは2014年で第9回を迎え、2006年の第1回開催から9年連続で、全国ランニング大会100撰に認定されています。

全国各地から多数のランナーが参加し、菰野町の素晴らしさを発信する鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンに第1回から協賛しています。

**デンソートリムは、
鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン
を応援しています！**

この地域で生産している私たちの製品は、国内外および
世界各国の自動車・自動車メーカーに欠かせない重要なパーツ
として組み込まれています。

DENSO TRIM



二輪車およびATV用部品製造の開発・設計・製造

デンソートリム株式会社

〒510-1222 三重県三重郡菰野町大字菰野町2480
TEL 059-391-0011
FAX 059-391-0050
http://www.denso-trim.co.jp

5. 環境報告

デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループをめざしています。そのために、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて、環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

「デンソーエコビジョン2015」では、温暖化防止、資源循環（省資源）、環境負荷物質の管理・削減（汚染予防）を全事業活動で重点的に推進し、「2015年長期環境目標」と「2015年環境行動計画（第5次）」を設定。グループ各社で共有するとともに、PDCAサイクルに基づく検証・見直しを繰り返しながら、取り組んでいます。

デンソートリムでは、「デンソーエコビジョン2015」を踏まえ、様々な活動を展開しています。

〔デンソーエコビジョン2015〕



5-1. 環境方針

理念

制定 2000年6月
第4回改正 2012年6月

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

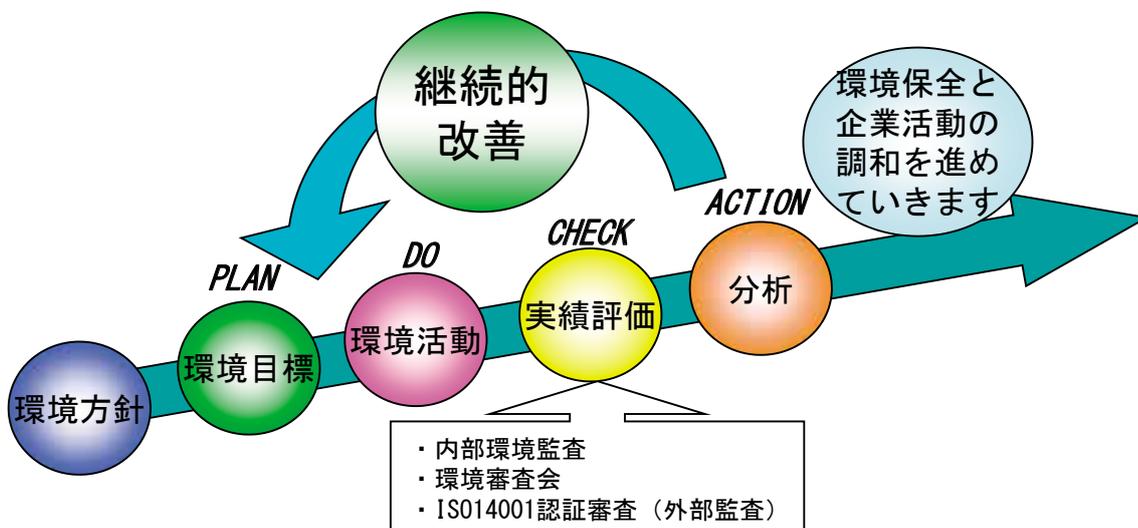
方針（骨子）

1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

5-2. 環境監査体制

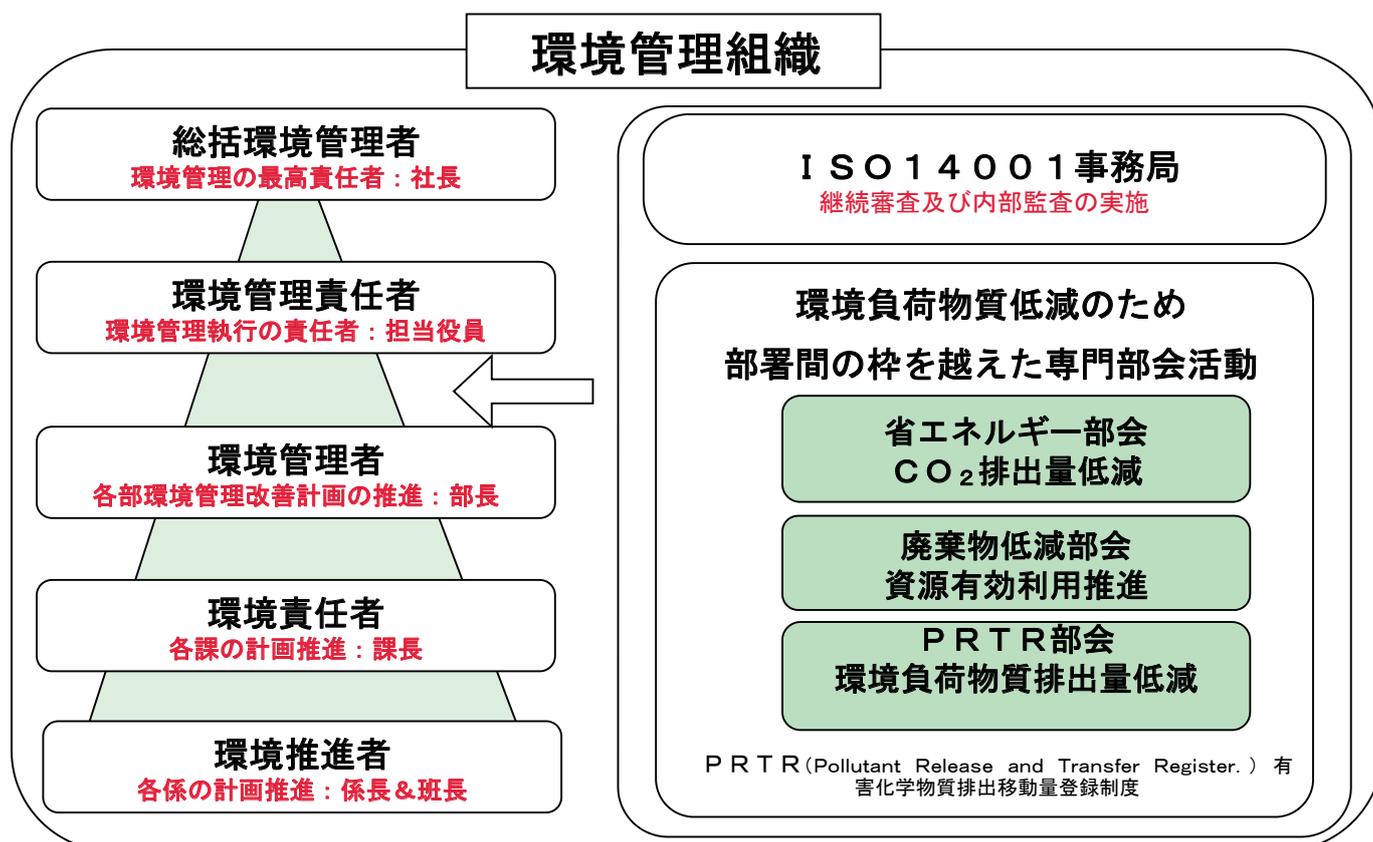
国際規格ISO14001に基づき、「環境マネジメントシステム」を構築しています。



5-3. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。

同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。



5-4. 環境行動計画

14年度の取組項目と実施事項

デソー エコビジョン	項目	取組み方針	実施事項
環境経営の 拡充 【エコマネジメント】	1. 環境マネジメントシステム運用	環境マネジメントシステムの継続的改善	①ISO14001認証の継続(環境に関する継続的改善の推進) ②法規・自主基準の順守(水質、騒音・振動)
	2. 環境パートナーシップの強化	環境に配慮したサプライヤーからの調達	①デソーグリーン調達ガイドラインの仕入先への展開・要請 ②グリーン購入：100%継続
環境と性能 向上の両立 【エコパフォーマンス】	3. 製品に含有する環境負荷物質の管理、削減	環境負荷物質の適正管理	①部品・材料に含まれる環境負荷物質を管理・削減 ②鉛フリーはんだへの切替
	4. 事前環境影響評価の充実	環境影響を事前評価するEMSの推進	①規程に基づく事前環境影響評価の継続 ②仕事の各段階での事前環境影響評価の継続
グローバルな 生産環境負荷 の着実な削減 【エコファクトリー】	5. CO ₂ 排出量低減	①省エネルギーの推進 ②輸送改善等による削減	①CO ₂ 排出量：10年比▲12.0%
	6. 排出物低減の推進	資源ロス低減活動推進	①総排出物発生量削減：13年度比▲0.5% ②ゼロエミッション継続 埋立廃棄物量150kg/月以下
	7. 工場環境負荷物質排出量低減	生産工程で使用する化学物質の適正管理と削減	①VOC対象物質：06年度比▲15% VOC：Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物) 対象物質例【VOC：トルエン、キシレン、イソプロピルアルコール等】
環境行動に関する 地域貢献と 情報発信 【エコフレンドリー】	8. その他	地域社会とのコミュニケーションの充実 環境保全意識の高揚	①地域活動への積極的な参画 ②構内緑化活動の推進 ③環境報告書による情報公開 ④環境保全教育・啓蒙活動の推進 ⑤エコカー導入

仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取り組んでいます。

5-5. 法規順守状況

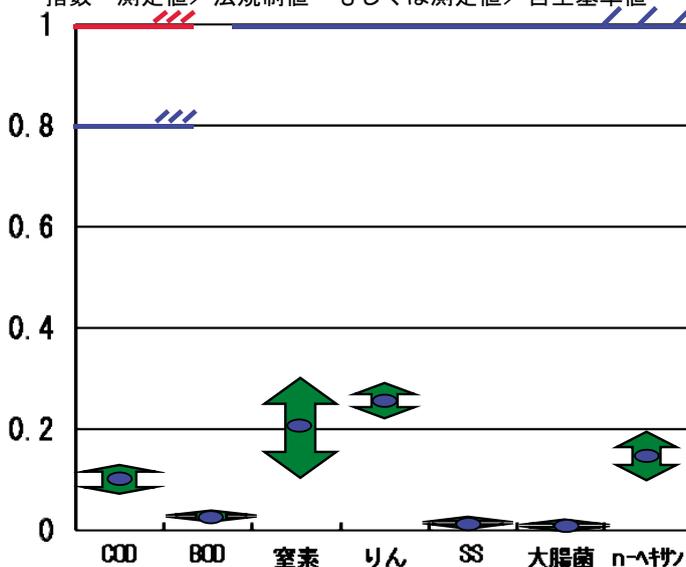
①工場排水の水質測定結果

【菰野町との公害防止協定に基づき2回/年(4月、10月)測定し町に報告】

— 法規制値 — 自主基準値 (特定事業所の基準)

指数 = 測定値 / 法規制値 もしくは 測定値 / 自主基準値

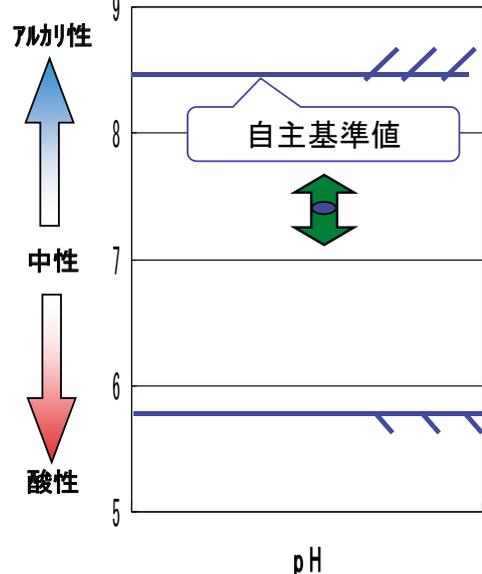
11年度現状の排水量が30m³/日以下になり特定事業所【50m³/日以上】から小規模事業所に法規制適用枠変更。



COD：化学酸素要求量

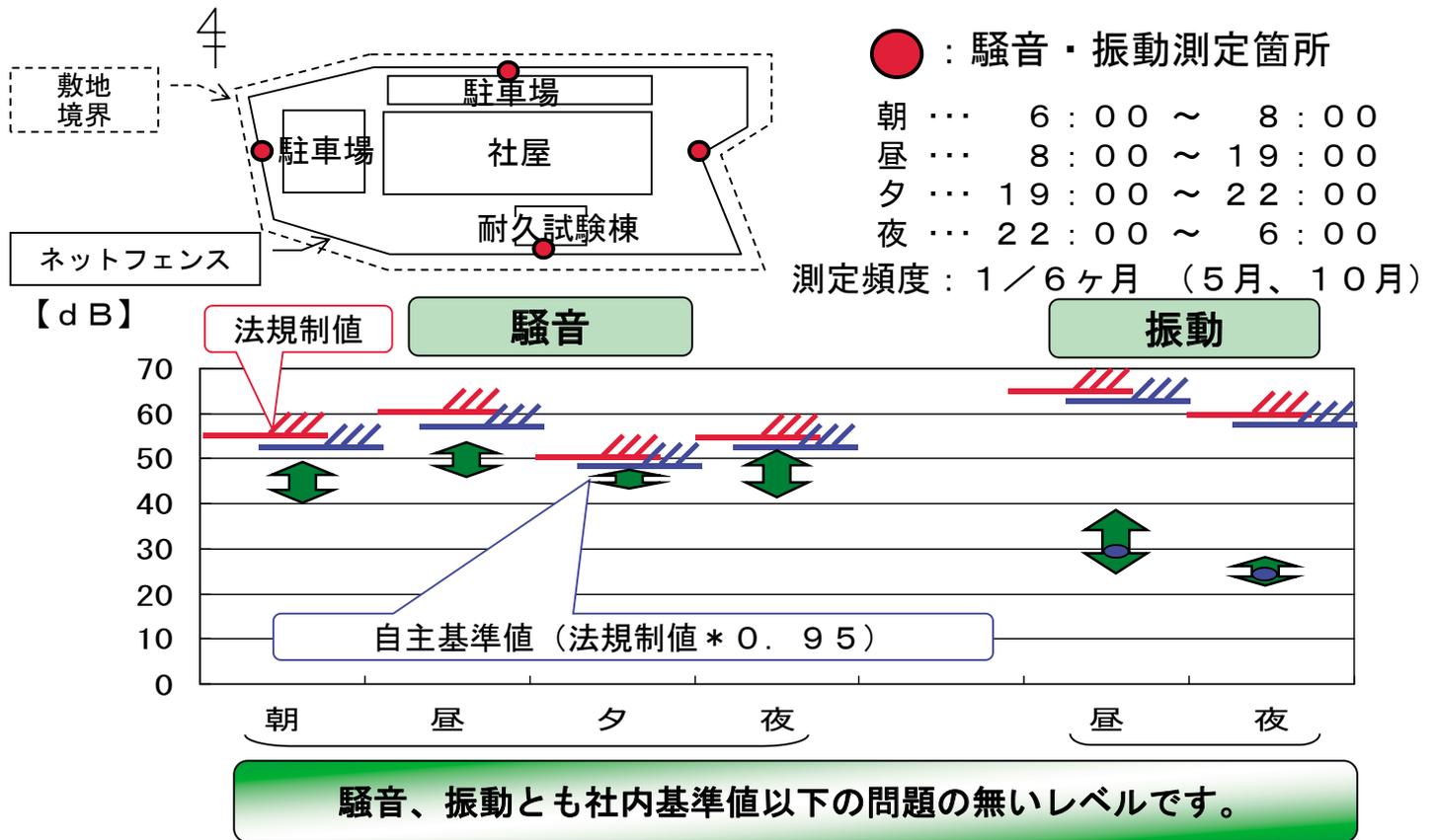
BOD：生物化学的酸素要求量

SS：浮遊物質



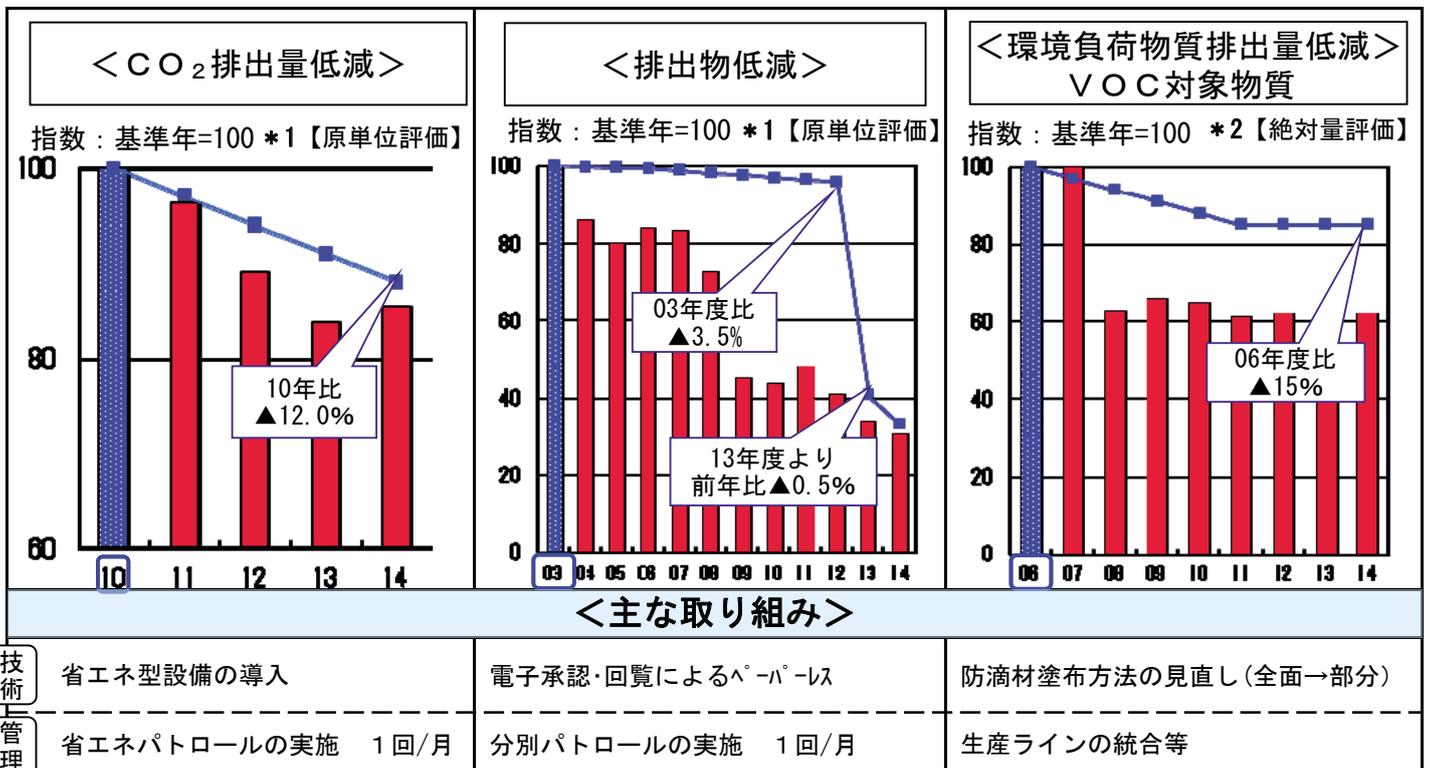
水質は法基準の半分以下で維持しています。

②騒音振動測定結果



5-6. 生産環境負荷削減 (基準年~14年度)

生産環境負荷の削減活動状況推移について



*1【原単位評価】: 生産金額1億円当たりの排出量
 *2【絶対量評価】: 排出総量(生産に直結)
 VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)

継続的な改善活動で14年度目標は達成。
 さらなる改善に取り組みます。

5-7. 14年度環境活動状況まとめ

項目	実施事項	目標	14年度実績	評価
法規制などの順守	水質、騒音振動定期測定 届出報告実施	社内基準値以内 漏れなく実施	全て満足	○
	公害及び苦情ゼロ	0件	0件	○
環境負荷の削減	CO ₂ 排出量低減 ・排出量低減	10年比▲ 12.0%	▲ 14.6%	○
	資源有効利用推進 ・排出量低減 ・ゼロエミ継続（埋立廃棄物低減）	13年度▲ 0.5% 150kg/月以下	▲ 8.2% 54kg/月	○ ○
	工場環境負荷物質排出量低減 ・VOC対象物質削減	06年度比▲15%	▲37.0%	○
環境行動に関する 地域貢献等	地域活動への積極的な参画 ゴミ0活動への参加	4回/年 開催	4回開催 (557名参加)	○
	課単位での環境教育の実施	2 H/人・年以上	2 H	○

各環境目標は達成しておりますが、改善の手を緩めず、今後も「地域から より信頼される企業」を目指し、環境保全活動を推進します。

【One DENSO Action グリーン&クリーン】^{NEW}

デンソーグループでは6月の「環境月間」にあわせて、グローバルに一丸となって「One DENSO Action グリーン&クリーン」をキャッチフレーズに各地域の特徴を生かしながら、共に環境意識を高める活動を行なっています。



当社のオリジナル活動として、正門を入れて左側の緑地帯にコンポスト容器を4基設置しました。これにより、大量の落ち葉等の処分が容易になり、しかもその生まれ変わった良質な堆肥をグリーンカーテンづくりにも役立てることが出来ます。



6. 製品を通じての社会貢献

環境

二輪車・四輪車の燃費を向上し、排出されるCO₂の削減に貢献しています。

<二輪製品>

ACジェネレータ



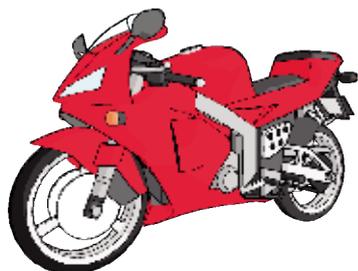
ECU・イグナイタ



O₂センサ



アイドルストップ用
スタータジェネレータ



<四輪製品>

O₂センサ



電池監視ユニット



EGRツ



電池ECU



安心・安全

夜間・雨天時の視認性を向上し、運転者の負荷低減・交通事故の未然防止に貢献しています。

<四輪製品>

LDM(LEDヘッド
ランプ制御装置)



ランプECU



AFS(フロントライト
システム) ECU



レインセンサ



AHS(ハイビーム
システム) ECU



レベリングECU



快適

寒冷時の車室内暖房の熱源として、快適な移動空間を提供しています。

<四輪製品>

クイックヒータ



2014年度の省エネ大賞(製品・ビジネス部門)において、当社製の電池ECUを搭載したデンソーと日野自動車殿が共同開発した「大型トラック用電動式冷凍システム」が、経済産業大臣賞を受賞しました。

2014年の第11回”超”モノづくり部品大賞において、当社製のクイックヒータを搭載したデンソーの「COA HVAC(カーエアコン)」が、自動車部品賞を受賞しました。



【アイドルストップ用スタータジェネレータの製品説明】

アイドルストップ用スタータジェネレータは、ACジェネレータにスタータ機能を追加し、バッテリー充電と共にエンジン始動機能を持つ二輪車用の製品です。アイドリングストップ付小型スクーター車両に搭載し、機能集約による少部品と軽量化に加え、

- ①燃費の向上
- ②アイドリングストップからのスムーズな発進
- ③メカニカルノイズの少ない非常に静粛なエンジン始動が可能となりました。



編集後記

当社では、2012年からCSR（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「CSR報告書」を発行させていただいております。

本冊子「CSR報告書2015」では、「CSRマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2014年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。

また、当社はCSR活動についても(株)デンソーと連結経営を行なっております。(株)デンソーの「CSRレポート2015」(<http://www.denso.co.jp/ja/csr/report/2015/index.html>)も併せてご覧下さい。

2015年9月

デンソートリム株式会社

〒510-1222

三重県三重郡菟野町大強原赤坂2460

お問い合わせ先
経営企画部 総務室

TEL 059-391-0011

FAX 059-391-0050



<http://www.densotrim.co.jp/>